

市議会だより



発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2024年〈令和6年〉
11月1日 第76号

広報と一緒にとじて保存しましょう

令和6年

表紙の写真：第32回たちばな古里まつりの
古代行列（北橋中3年生）

9月渋川市議会定例会

■ 令和5年度決算を議会が認定	2～3ページ
■ 本会議のあらまし	4ページ
■ 常任委員会・特別委員会の審査	5～7ページ
■ 一般質問（14人の議員が市政を問う）	8～15ページ

令和5年度決算を議会が認定 主な事業を紹介します

令和5年度渋川市一般会計、7つの特別会計、2つの企業会計決算を3日間かけて決算特別委員会で審査を行いました。

JR 渋川駅周辺整備事業

7905万円

説明 利便性の向上と良好な駅前空間形成のため、JR 渋川駅周辺地域を整備するもの。令和5年度はタクシー乗降場シェルターを整備



電子地域通貨活用 地域経済活性化事業

9億1238万円

説明 しぶかわ電子地域通貨「渋Pay」によるポイント還元キャンペーンを実施



物価高騰対策 緊急生活支援事業

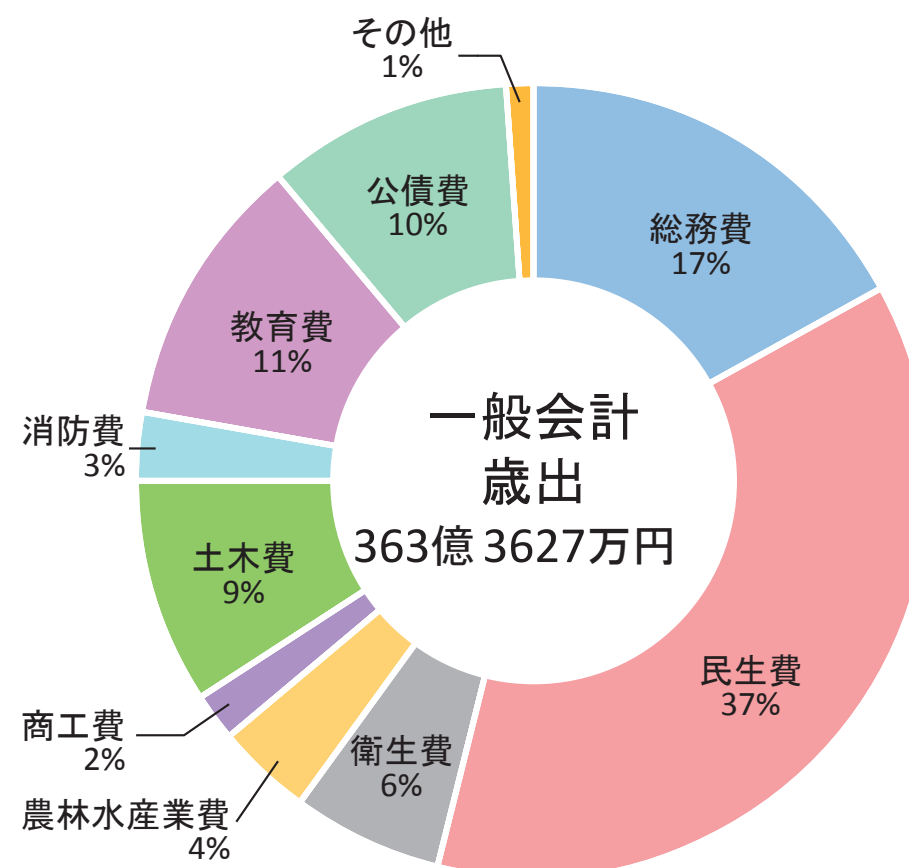
5億6160万円

説明 住民税非課税世帯への給付。また、同世帯内の18歳以下の子どもに対し加算給付

家庭児童相談事業

1124万円

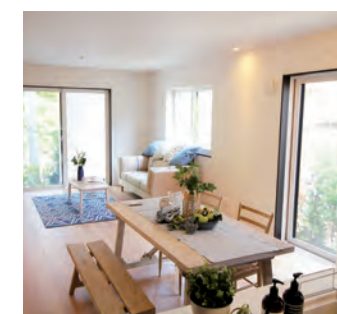
説明 ・児童の養育、児童や家庭に関する問題解決のための相談、面接等の支援の実施
・ヤングケアラーの実態調査や理解促進事業



移住者住宅支援事業

4503万円

説明 新たに住宅を取得し市へ転入する世帯に助成金を交付



高齢者外出支援事業

3274万円

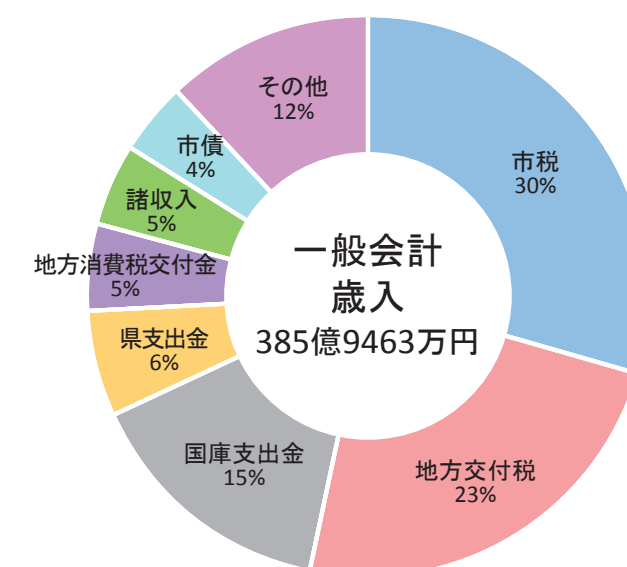
説明 75歳以上で運転免許証を有しない高齢者に日常生活の移動支援のためタクシー利用券を交付



		歳入	歳出
一般会計		385億9462万8550円	363億3626万9382円
特別会計	国民健康保険	87億9894万3460円	87億6822万1347円
	後期高齢者医療	12億4875万1603円	12億4250万5345円
	介護保険	91億9647万326円	88億6626万446円
	農産物直売事業	148万3007円	148万3007円
	伊香保温泉観光施設事業	2億2302万2322円	1億8076万8757円
	小野上温泉事業	1791万7316円	1791万7316円
	交流促進センター事業	1437万4834円	1437万4834円
企業会計	水道事業	収益的収入・支出 17億8970万1341円	17億9820万870円
		資本的収入・支出 4億6539万1358円	11億4565万1910円
	下水道事業等	収益的収入・支出 26億5082万6837円	25億1756万4927円
		資本的収入・支出 18億7018万9848円	25億2512万5474円

一般会計 363億円 + 特別会計 191億円 + 企業会計 80億円
= 634億円はどのように使われたか？

決算審査の様子は6・7ページで詳しく紹介します



令和6年 9月定例会

令和5年度決算を認定、補正予算は可決

あらまし

令和6年9月定例会は、9月4日から27日までの24日間の日程で開催されました。市長専決処分の報告1件のほか、人事案件、契約の締結、令和6年度補正予算、財産の取得の追認、令和5年度決算等の市長提出議案33件、請願4件、国への意見書提出に関する議員提出議案4件が提出され、一部を除いて各常任委員会、決算特別委員会に付託、慎重に審査・審議を行いました。本会議において、いずれも原案のとおり可決・同意・採択・認定しました。本会議では、市長や議員から提出された議案などを審議します。主な議案の内容と議決結果を紹介します。

令和5年度各決算を認定

一般会計決算、特別会計決算（7件）、そのほか水道事業会計欠損金の処理及び決算、下水道事業等会計決算についてすべて認定しました。（※詳細は6ページ）

渋川駅前広場メインシエルトー新築工事の契約を締結

渋川駅前広場整備の一環としてメインシエルトーを整備するものです。全員一致で可決しました。

令和6年度一般会計補正予算（第3～5号）を可決

主な内容は次のとおりです。なお、第3号に対し議員が提出した修正案（①市



渋川駅前広場の完成予想図

民会館設備更新工事は計画的に当初予算に計上すべき、②子持社会体育館トイレ改修工事は便器の洋式化だけでなく、車いすなど誰でも使いやすくなるよう改修すべきとし、それぞれ減額するもの）は否決しました。

一般会計補正予算（第3号）

- ・ 新型コロナウイルスの高齢者への定期接種の実施と受験生世代への任意接種費用の一部助成を実施
- ・ 新市誕生20周年に合わせ、市のプロモーション動画を新たに制作
- ・ 古巻公民館整備推進のため、駐車場整備に係る設計、造作家具、公民館運営に必要な備品を整備
- ・ 市民会館大ホール舞台照明設備およびつり物装置の更新工事と、子持社会体育館のトイレ改修工事
- ・ 渋Payの前年度未利用分の確定に伴い、今後の精算に必要な加盟店精算金予算を増額

一般会計補正予算（第4号）

- ・ 8月29日の降雨により北橘町真壁地内の市道に道路陥没が発生したため、復旧工事を実施

一般会計補正予算（第5号）

- ・ 全日本小学生バンドフェスティバルに古巻小学校吹奏楽部を派遣
- ・ 9月8日の降雨により北橘町小室地内3か所の農地ののり面が崩壊したため、復旧事業を実施

財産の取得を追認

契約金額が2000万円以上の財産の取得は議会の議決を要しますが、次の4件は議決を経ずに取得して

いたことが判明したため、追認するものです。全員一致で可決しました。

- ・ 小中学校で用いる教師用指導教材、教師用教科書および教師用指導書（令和元年度、令和2年度、令和5年度の3件）
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策で用いる3層式サージカルマスク

人権擁護委員の推薦を同意

任期満了に伴い、新井久幸氏、千明奈麻氏、前田泉氏、新井健二氏、齊藤いよる氏を後任に、唐澤裕美氏、猪熊正道氏を引き続き推薦するものです。全員一致で同意しました。

常任委員会の審査

各常任委員会では、本会議で最終的な採決を行う前に、議案の詳細な審査を行います。また、常任委員会協議会では市から各事業の報告・説明を受けます。各常任委員会での主な審査内容等をお知らせします。

総務市民

審査結果 付託された1議案は全会一致で可決、請願1件は多数決で採択しました。

マイナバーの利用等に関する条例の一部を改正

生活保護法および児童手当法の一部改正に伴い、所要の改正をするものです。全会一致で可決しました。

総務市民常任委員会協議会

市から(仮称)渋川市デジタル田園都市構想総合戦略(第3期渋川市総合戦略)の素案、第3次渋川市男女共同参画計画の策定方針について報告、説明がありました。

経済建設

審査結果 付託された3議案はすべて全会一致で可決しました。

渋川駅前広場メインシエルトー新築工事の契約を締結

質疑 工事現場周辺への点字ブロックの設置等、視覚障がい者への安全対策は。

質疑 工事中は誘導員を複数人配置し、安全に通行できるように努めます。

質疑 工事時間以外の早朝や夜間の安全対策は。

答弁 工事時間以外も安全に通行できるように安全対策を考えていきます。

質疑 過去に計画段階で金額が議会に示されていたが、そこからさらに物価が上昇

している。今回の金額は物価上昇を見込んでいるのか。
答弁 物価上昇を見込んでいます。また、計画段階では詳細な金額がつかめませんでした。関連工事が進み、実勢価格が積算可能となりました。物価上昇を見込んで、計画段階時の金額より減額となります。

経済建設常任委員会協議会

市からSUNおのがみ等の譲渡の経過及び再公募、JR八木原駅西側駅前広場整備、下水道使用料の改定方針について、報告・説明がありました。

教育福祉

審査結果 付託された5議案および請願3件はすべて全会一致で可決、採択しました。

財産の取得を追認

本来議決を経なければならなかった教科書購入について追認するものです。
質疑 購入に係る起案が市

長決裁となるまでの流れは。
答弁 課長、教育部長、教育長、総務部長、副市長、市長の順に決裁します。

質疑 契約書上での見落としはあったのか。

答弁 契約書上にチェック項目等はなく、契約額200万円以上の教科書購入が要議決案件に該当すると認識が欠落していました。

質疑 今後の対応は。

答弁 職員へ周知徹底し、チェック体制を構築します。

予算

(令和6年度補正予算)

審査結果 付託された5議案のうち一般会計補正予算(第3号)は多数決で可決、ほか4議案は全会一致で可決しました。

一般会計補正予算(第3号)

市民会館の設備更新工事

大ホール舞台照明およびつり物装置の更新工事です。

質疑 工事費4億8000万円の大規模工事を、なぜ計画的に当初予算に計上しなかったのか。

答弁 更新時期を見極めていましたが、今年度の点検結果を受け、更新の判断に至りました。合併特例債を使用することから、期限である令和7年度に工事を完了させるため、今回補正予算を計上しました。



更新される舞台照明

子持社会体育館トイレ改修
便器の洋式化工事です。

質疑 便器の洋式化だけでなく、障がいがある方や車いす利用者、赤ちゃん連れの方など、誰でも利用しやすいよう改修すべき。

答弁 既存施設に広さがなく、オストメイト等の設置や、車いすが転回するスペースの確保はできません。

令和5年度決算の審査

令和5年度浜川市一般会計決算、国民健康保険特別会計決算は多数決で、そのほかの決算は全会一致で原案のとおり認定しました。
決算特別委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

令和5年度一般会計

一般コミュニティ助成事業

質疑 北橋地区の一般コミュニティ助成事業が未執行になった理由は。

答弁 自治総合センターに補助決定されたが、市が助成対象自治会への連絡を怠り、期限内に事業執行ができなくなったためです。

市長会見に関する調査第三者委員会

質疑 市の保有する個人情報漏えいに関する調査のため、市長が設置した第三者委員会の開催回数と、調査報告書の提出時期は。

答弁 令和5年度は5回開催しました。報告書の提出

期限は、委員会において未決定です。（9月20日時点）

地域の魅力総合発信事業

質疑 広告等の実施内容は。

答弁 上毛新聞のぐんま愛への記事の掲載、J R東日本の新幹線車内誌への広告掲載、新宿アルタビジョンへの市P R動画の放映です。

浜川市P R動画情報発信事業

質疑 P R動画作成本数とその成果は。

答弁 外部委託により10分のP R動画を1本、1分の動画を2本作成し、再正回数は10分の動画が9300回、1分の動画が24万9000回です。また、自作動画47本を作成しました。

放課後児童クラブ物価高騰対策支援事業

質疑 予算額84万7000円に対し、不用額が74万7000円発生した。事業周知はどのように行ったのか。

答弁 児童1人当たり1000円の補助を市から直接放課後児童クラブに周知しました。しかしながら、申請された放課後児童クラブは、3クラブでした。

木とふれあう木育推進事業

質疑 事業内容と成果は。

また、1セットの費用は。

答弁 子育て環境に木を取り入れる「木育」を推進するため、新生児を対象に、県

産木材を利用した積み木セットを出産祝品として349セット贈呈しました。費用は、1セット当たり税抜き5900円です。

証明書コンビニ交付事業

質疑 本市の証明書コンビニ交付手数料は300円だが、他市町村では100円で交付している自治体がある。減額する考えは。

答弁 自治体の中には、マイナンバーカード普及活動の一環として減額している自治体があります。今後、事業実施に伴い事業者に支払う手数料等を検討し検討します。

医療的ケア児支援事業

質疑 予算額の半分以上の不用額が発生した。人材の確保は十分であったのか。

答弁 令和5年4月から第五保育所に専任の看護師2名および保育士1名を配置し、医療的ケア児の受け入れを開始する予定でしたが、看護師の採用が6月と遅れ、2名予定の看護師が1名し

か採用できず、不用額が発生してしまいました。

家庭児童相談事業

質疑 児童の適切な養育の推進および児童やその家族に関する問題の解決のための相談件数は。また、ヤングケアラーの実態把握のために中学生を対象に実施したアンケートの内容は。

答弁 相談件数は493件です。

アンケートは、各中学校で毎月行っているアンケートの中に、生活に困りごとがないかなどの項目を加えて実施しています。
また、小学校低学年の児



出産祝品の積み木セット



第五保育所

童がヤングケアラーとなっていた事例があったことから、従来の中学生に加え、小学生を対象とするアンケートの準備を進めています。

児童がヤングケアラーとなっていた事例があったことから、従来の中学生に加え、小学生を対象とするアンケートの準備を進めています。

農業担い手物価高騰対策支援事業

質疑 認定農業者への支援内容は。また、認定農業者以外の農業者への支援は。

答弁 物価高騰の影響を受けている認定農業者の経営安定を図り、市内農業の活性化を図るため、認定農業者1人当たり20万円を66人に交付しました。

また、認定農業者以外の農業者への支援は、市単独による支援を検討します。

また、認定農業者以外の農業者への支援は、市単独による支援を検討します。

また、認定農業者以外の農業者への支援は、市単独による支援を検討します。

有害鳥獣対策事業

質疑 有害鳥獣の被害は、農産物だけでなく、市民生活の安全にまで及んでいる。

捕獲奨励のためにも奨励金を増額すべきでは。

答弁 有害鳥獣捕獲奨励金を昨年度増額しました。有害鳥獣捕獲体制等の整備、捕獲隊への支援を含めて、

有害鳥獣捕獲体制等の整備、捕獲隊への支援を含めて、

捕獲奨励金の増額についてさらに検討します。

伊香保ハワイアンフェスティバル実施事業

質疑 総事業費と補助金1000万円の使途は。

答弁 総事業費は3589万円です。補助金以外の主な収入は、フェスティバル参加料です。補助金の使途は、ハワイから招待した関係者の旅費、宿泊費とフェスティバル会場設営費です。

関係者の旅費、宿泊費とフェスティバル会場設営費です。

地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業

質疑 執行率が低い理由と、スクールガードリーダーの安全指導の活動実績は。

答弁 スクールガードリーダーが1人のため、学校からの希望の重複に対応できていません。また、安全指導は下校時47回、校外学習等15回、合計62回です。

スクールアドバイザー事業

質疑 雇用したスクールアドバイザーの経歴・資格と事業実績は。

雇用したスクールアドバイザーの経歴・資格と事業実績は。

雇用したスクールアドバイザーの経歴・資格と事業実績は。

答弁 校長退職後、スクールカウンセラー、スクールスーパーバイザーを歴任し、臨床心理士の資格を保有する方です。市内小中学校の求めに応じ、43回派遣し、相談時間は48時間でした。

地場産業後継者育成支援事業

質疑 事業内容と成果は。

答弁 地域おこし協力隊1人を委嘱し、創作こけし産業の後継者を育成するとともに、創作こけしのPRを推進しました。現在、地域おこし協力隊OB2人が起業しています。

地域おこし協力隊OB2人が起業しています。



OBが作製した創作こけし

討論

「令和5年度一般会計歳入歳出決算について」

賛成

学校給食費・保育料無料化等は継続的に実施された。子どもの医療費無料化の18歳まで拡充も評価する。

住宅エコリフォーム支援事業は922万円の補助で3億5900万円の経済波及効果があった。市民はエコに限らず普通のリフォームにも使える制度を望んでいる。

新型コロナウイルス感染症は昨年5月に国の方針により分類が5類相当になったが、感染状況を注視していく必要がある。これからも市民の安心安全な生活が図られるよう要望する。

反対

おおむねの事業は評価できるが、制度設計や事業計画が甘く今回も予算の執行率の低さが目立つ。経常収支比率は95・3%と若干改善したもの、財政構造の硬直化が進み、さらなる改善努力が必要。実質収支比率も9・2%に上昇した。不用額が多かったが積立金(財政調整基金)は約9%、約6億円減少してしまった。また、自治会への助成事業において権利を放棄する事態が発生し、市民の利益を逸してしまった。高木市長の予算より決算という「決算主義」がこのような結果を招いた。

令和6年9月定例会

一般質問 ～14人の議員が 市政を問う～

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる問題について、議員が市に対して質問を行います。

加藤 幸子 議員 P 8

田邊 寛治 議員 P 9

田村なつ江 議員 P 10

福島 丘泰 議員 P 11

須田 勝 議員 P 12

山内 崇仁 議員 P 13

角田 喜和 議員 P 14

茂木 弘伸 議員 P 9

中澤 功史 議員 P 10

田中 猛夫 議員 P 11

高澤 幹 議員 P 12

高野 佳美 議員 P 13

埴田 裕之 議員 P 14

後藤 弘一 議員 P 15

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。各議員のタイトル下の二次元コードからご覧いただけます。

酷暑から市民を守れ
質問 生活保護受給世帯、低所得者世帯の命を酷暑から守るために、エアコンの購入設置・修理費用の補助制度創設と電気料補助を。
福祉部長 生活保護の既存制度を周知し、エアコンに限らずさまざまな対策を研究します。電気料は、国の緊急支援の動向を注視します。
コロナ5類移行後の対策は
質問 新型コロナウイルス感染症は、11度目の流行期に入ったとされる。感染動向、ワクチン接種体制と個人負担、今後の予防体制は。
育都推進部長 5類移行後も夏と冬に流行を繰り返しており、基本的な感染対策が効果的であることを定期的に周知しています。重症化を防ぐため、コロナワクチンの定期接種は、自己負担額を県内で最も安い1500円で実施します。
水道水からのPFAS検出
質問 行幸田、有馬、八木原、半田地区に送水される有馬配水池の水源から、人体に影響し、発がん性が指摘されているPFASが基



加藤 幸子

市民の生活環境と暮らし、健康を守る



PFASが高い数値で測定された有馬地区の水道水

準値を超えて検出された。汚染源の調査はしているのか。
上下水道局長 水源周辺にはPFASを排出するような施設等は見当たりません。県により汚水源の調査が行えるか打診しています。
質問 配水地域の家庭を対象にPFASが除去できる浄水器の設置補助を出すべき。
市長 安心して暮らせる環境の提供が大切です。市民の安心を確保する観点から、さまざまな方策について積極的、迅速に対策を立てていきたいと考えています。

一般質問



茂木 弘伸

市民の安全安心

上水道について

質問 上水道で水質検査基準値を超過したことはあるか。

上下水道局長 水道水の水質基準値を超過したことはありません。

質問 有馬配水池の水源で目標値を超えたPFASが検出されたが、家庭に配水される水道水は目標値内とのこと。市の対応は。

上下水道局長 水道水で目標値を超過した場合は、摂取制限付き給水や配水停止などの対応をしなければならぬと考えています。

質問 水道管の耐震化率が他市より極めて低い理由は。

上下水道局長 財政的な問題に加え、職員の人材不足や国県等の他事業工事に伴う移設工事が多く、耐震化に遅れが生じています。

下水道について

質問 市南部の河川で汚水のおいがし、生活排水による汚染が心配との相談を受けた。市の対応は。

上下水道局長 下水道処理区域内でのにおい等については、現地確認とともに、周辺の未接続世帯に



耐震化が急がれる水道施設



水洗化のお願いをしています。

質問 震災時のトイレ問題の対策に、マンホールトイレの活用は。

上下水道局長 マンホールトイレなど污水处理に関する災害用備品について、防災部局等と連携し、整備、備蓄について検討します。

質問 本年4月に水道料金が改定された。財政運営を含め、未来に向け安全安心な水を届ける考えは。

市長 上下水道は極めて重要な施設です。国の支援も入れながら、持続可能な災害に強い施設を構築していきたいと考えています。



田邊 寛治

高木市政のあるべき姿

市長の癖から見てとれる姿

質問 虚偽発言をする、解釈を曲げる、人を攻撃排除する、過ちを謝罪しないのはなぜか。

市長 私は虚偽発言をしていません。適切な解釈をし、正当な反論はしますが、攻撃はしていません。
強権から発した事案

質問 否決された当初予算を修正せず専決処分したのはなぜか。

市長 限られた時間の中で、市民生活に影響が出ないように最善の方法として専決したものです。

質問 副市長任命同意の否決後、臨時会ですぐに再提出した理由は。

市長 副市長が必要であるという考えのもとに選任をしたものです。
渋川市の職場における事案

質問 本市は、なぜ不祥事、住民監査請求、住民訴訟が多いのか。

市長 市民からの提起は現在の社会ではありうることだと思っています。
質問 職員に病気休暇、早期退職、逮捕者、自殺者が多い理由は。

市長 渋川市が特別多いとは思いませんが、しっかりと職員の健康

管理をしていきます。

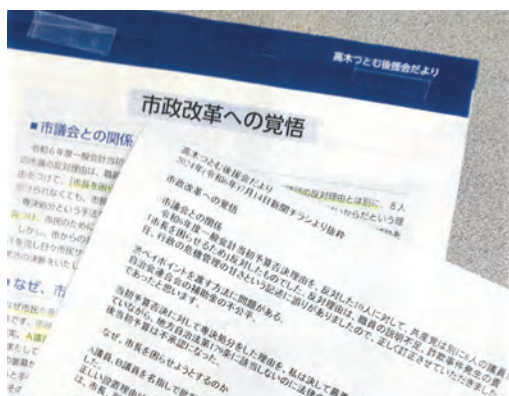
高木つとむ後援会だより

質問 後援会だよりに「私は戦う」とあるが、どういうことか。

市長 渋川市民の幸福度を最大化するため、渋川市の将来に向けて市政を運営していく、このことにあらがう者があれば私は戦います。
調整と倫理観

質問 調整型市政を目指す考えは。

市長 政治のやり方にはさまざまな手法があると思います。行政の力を最大限に発揮し市民のために尽くすということが私の考えです。



高木つとむ後援会だよりの真偽





中澤 功史

持続可能な渋川を創ろう



田村なつ江

教育、健康づくり



地域防災における自分らしさ

質問 避難行動要支援者も参加できる避難訓練の実施状況と今後は。

情報防災部長 障がい者も含め、すべての方を対象に実動訓練を実施しています。より多く参加していただけるよう啓発していきます。

質問 避難所運営における要配慮者に対する「特別な配慮」とは。

情報防災部長 パーテーションや間仕切りでプライバシーの空間を確保することや、段差をなくすなどの対応を行っています。

質問 避難生活が長期化した際に想定される問題とその解決方法は。

情報防災部長 健康面の不安や今後の生活面への心配などが予想されます。関係団体の協力を得ながら、丁寧に対応していきます。

質問 地域防災計画に災害派遣福祉チーム「DWAAT」の派遣規定の追加を提案するが、その考えは。

情報防災部長 避難所生活における問題解決を図るため、地域防災計画の見直しにあわせ、「DWAAT」の記載について対応します。



10月6日に行われた風水害の発生を想定した避難所開設運営訓練

支援の選択における自分らしさ

質問 学校で健康診断を受けていない不登校児童生徒への配慮は。

教育部長 登校できたときに個別に行っています。登校できない児童生徒へは、保護者に連絡し、医療機関へ健診を依頼しています。

質問 学校での健康診断に替わり医療機関で受診できる全市一律の仕組みを整備する考えは。

教育長 学校での健診は健康状態を把握するために重要と考えます。登校できない児童生徒には、積極的に医療機関への受診を勧めます。

子どもの学力向上について

質問 小中学生の学力向上、学校間の学力格差解消の取り組みは。

教育長 子どもたちが学ぶ楽しさを味わえる授業づくりが大切です。そのために、教職員の指導力の向上に努めるとともに、子どもたちと向き合う時間が確保できるよう、多忙化解消にも努めていきます。

現役時代からの健康づくり

質問 各種「がん」検診の受診者数や受診の状況は。

育都推進部長 受診勧奨や受診環境の整備を行うことにより、受診者数は、令和5年度にはコロナ禍前の水準に戻りつつあります。

質問 大腸がん検診の受診率の向上に向けた取り組みは。

育都推進部長 受診スタイルに合わせ選択できる容器の配布方法の周知の徹底や、検診日の増加など受診しやすい環境を整えます。

質問 HPVワクチン接種状況と今後の取り組みは。

育都推進部長 対象者への個別通知やSNS等での周知を行った結果、接種者数は増加しています。



検診の受診促進で早期発見を

果、接種者数は増加しています。引き続き、丁寧な周知を図ります。

質問 フレイル予防の現状は。

福祉部長 高齢者の状態に合わせ各種教室等を実施するとともに、地域の通いの場に運営費等を補助し、介護予防を推進しています。

マイナ保険証

質問 マイナ保険証の登録状況、医療機関等での利用実績と課題は。

育都推進部長 登録率は61・9%、利用率は13・2%です。マイナ保険証制度への移行に不安を抱く方がいることなどが課題です。

一般質問



田中 猛夫

市政運営について



企業誘致の現状

質問 平成29年に県の新規産業団地造成候補地に選定された。その後の県との協議の進捗はどうか。

産業観光部長 地形や地理的状況、周辺環境などを精査する中で、農林調整をはじめ、接続道路や水道等、必要とされるインフラ整備費用などの課題も多くあることから進んでいないのが現状です。

質問 北橘町地内に農村地域工業導入計画による企業団地予定地があるが、数十年にわたり予定された企業の進出がない。市はどのような対応を行ってきたのか。

産業観光部長 市ではこれまでに用地を取得した企業を訪問し、建設の意向調査を行っていますが、企業の経営上の都合等により、工場の建設に至っていません。

高木つとむ後援会だより

質問 高木つとむ後援会だよりに掲載された「市政改革の覚悟」は、市長が寄稿したものか。

市長 後援会だよりは、私の政治理念を支持し支えてくれている後援会が発行したものです。



拡張が期待された有馬工業団地

援会が発行したものです。

質問 「市政改革の覚悟」とし、議員名を实名記載し、議員の名誉、社会的評価を毀損した。この記載内容について、市長の責任は。

市長 名誉毀損に当たるか否かの判断は司法が行うものです。しかし私は、社会的評価の毀損に当たらないと考えています。

質問 後援会だよりの記載内容は、すべて後援会に責任があるのか。

市長 後援会だよりの内容の責任は誰が負うのかといった話には、市長としてお答えしかねます。



福島 丘泰

笑顔あふれる渋川のために



高齢ドライバーの安全と安心

質問 高齢ドライバーの安全と安心につながる「自動車の誤発進防止装置」の設置費用の助成を再度実施する考えはあるか。

情報防災部長 働く世代の高齢化に伴い、高齢ドライバーは今後も増加が見込まれます。誤発進防止装置の搭載を国で義務化する動きがあり、実施について検討します。

防災拠点のモデルとしての

古巻公民館建て替え工事

質問 駐車場不足が心配されるが、公民館西側に防災機能を備えた多目的広場を整備する考えはあるか。

教育部長 古巻公民館西側の敷地については、公民館が完成し利用が開始された後、必要に応じて、強化すべき機能を見極めながら、検討していきたいと考えます。

自治会の課題

質問 老人クラブなど地域コミュニティを構成する団体の運営や維持が困難との声があるが、今後どのようなサポートをしていくのか。

副市長 社会や価値観の変化はあ



元気に活動されている
渋川市老人クラブ連合会のみなさん

るものの、老人クラブの活動が高齢者の生きがいづくり、仲間づくりとなるよう、市としてもしっかりと活動を支援していきます。

質問 広報紙の発行が月1回となったが、配布する自治会、読み手である市民の評価と、紙面の情報の質と量を落とさない取り組みは。

市民環境部長 自治会の負担軽減につながったと聞いています。今後も意見を伺い反映していきます。

総合戦略部長 読者からは好意的な意見が多いです。今後も読みやすい紙面作りに取り組みます。



高澤 幹

誰一人取り残さない渋川市



利用しやすい公共施設

質問 公共施設における「思いやり駐車場」での降雨時の対応は。

総務部長 本庁舎正面駐車場には屋根が設置されています。第二庁舎駐車場には案内板を設け、連絡を受けた職員が介添えできるような体制整備を進めます。

質問 市有施設の「学習スペース」の環境整備は。

教育部長 各公民館では、施設の使用方を工夫し、学習スペースを確保しています。今後も快適な環境になるよう検討していきます。

質問 市の窓口延長に合わせ、市美術館の夜間延長開館は行えるか。

教育部長 美術館の利用促進の効果としては限定的と考えていますので、現在の休館日の変更や開館時間の延長は考えていません。

防災対策

質問 各自治会の「避難タイムライン」はどう活用されているか。

情報防災部長 地域の防災訓練や市の実動訓練で実施する避難所の開設訓練において、自宅などから



自治会ごとに作成している避難タイムライン

避難所までの経路の確認などに活用していただいています。

質問 作成後の「避難タイムライン」の内容更新は行われているか。

情報防災部長 内容に変更があった場合など、更新については危機管理室にご連絡いただくよう自治会長にお知らせしています。

質問 災害用トイレトレーラーやコンテナトイレを導入する考えは。

情報防災部長 機動性に優れ、快適なトイレは避難生活の質の向上につながると考えます。引き続き検討していきます。



須田 勝

高木市政の最終章

高木市長7年間の実績と評価

質問 平成29年、1期目の選挙公報での公約「明日の渋川を拓く」6つの挑戦」で、評価できるものは。

市長 人口減少率は県内12市中最も高く、1人当たりの地方債残高も最多の状況でしたが、さまざまな施策により、人口の減少率および財政状況ともに改善しました。

質問 令和3年、2期目の選挙公報での公約、「誰一人取り残さない『明日の渋川を拓く』10のプラン」は、幾つ実現できたのか。

市長 市長公約は40項目を超えています。私は、一日一日渋川市長として市民のために全力を尽くしており、すべての項目について、着手をし、前に進めています。

質問 高木市長就任後、定年を待たずに退職した部課長級職員数は。

総務部長 平成29年以降現在までの間で定年前に退職した課長級以上の職員数は、特別職就任のために退職した2名を除き、11名です。

市長の任期残り1年の課題

質問 来年9月まで、任期がちよ



残り1年 高木市政

うど残り1年となる。この7年間で達成できなかったことを、残り1年で引き続き挑戦するのか。

市長 ささまざまな事業に取り組んできました。完全に達成されていないものもありますが、引き続き実現に向けて、一日一日市民のために全力を尽くしていきます。

質問 市長は3選目を目指すか。

市長 私は、今の渋川市への責任があります。また、将来の渋川市にも責任を持って対応していきます。日々渋川市のために全力を尽くしていきます。



一般質問



高野 佳美

未来のためのまちづくり



合併後の未調整事業

質問 平成18年2月20日の市町村合併から18年、多岐にわたる未調整事項の中で、現在も調整中の件数および内容は。

総合戦略部長 渋川地区市町村合併協議会で合併時点では未調整事項として整理された206件は、これまでに方針や考え方などを整理し、すべて調整済みです。

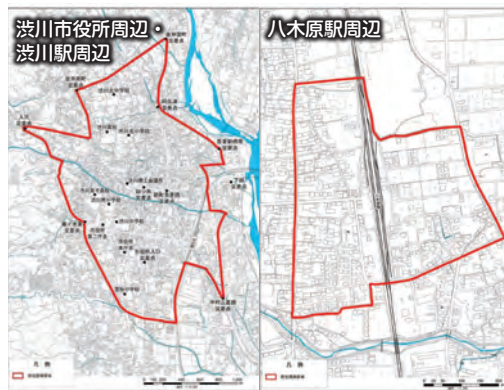
立地適正化計画

質問 「居住誘導区域定住促進事業補助金」の交付実績は。

建設交通部長 令和4年度の交付実績は、交付件数4件、交付額165万円、居住誘導区域内に誘導した人数は13人です。令和5年度は、交付件数14件、交付額640万円、誘導人数は54人でした。

質問 令和5年3月に居住誘導区域内の防災機能強化のため防災指針を追加した。新たな2項目の追加を含む「居住誘導区域定住促進事業補助金」の加算項目は。

建設交通部長 加算項目は、若者加算、子育て加算、区域外加算、



居住誘導区域

地区加算に加え、防災指針を策定したことにより追加したハザード加算、耐震加算の6項目です。

市民活動の拠点づくり

質問 過去の一般質問で市の遊休資産を活用し、市民の活動場所の整備を提案した。市の遊休資産の状況と、今後の活用予定は。

総務部長 利用可能な施設は貸し付けや譲渡を行っています。多くの施設は老朽化等により利活用が困難な状況です。今後とも、市民ニーズをとらえ、サービス維持と施設保有量縮減を図ります。



山内 崇仁

渋川市の魅力を発信



都市計画マスタープラン

質問 マスタープランは令和2年に公表したが、産業誘致プロジェクトチームを今年編成した理由は。

産業観光部長 コロナ禍が大きな社会変化をもたらした中、産業用地の創出検討に加え、社会情勢の変化に対応し、業種にとられず、広く産業を誘致するためです。

ふるさと納税

質問 2023年度返礼品であるリンゴ「ぐんま名月」が未発送となっているが、解消の取り組みは。

総合戦略部長 今年度中の発送に向けて、令和6年度の受け付けを中止し、市と事業者との間で「申し合わせ書」を取り交わして、未発送の解消に取り組んでいます。

教育の充実

質問 夏季休業後の不登校児童生徒の状況は。

教育部長 二学期は不登校児童生徒数が増加する傾向にあります。久しぶりに登校することに不安を感じたり、生活のリズムが乱れたりすることが考えられます。



高校生・大学生による夏休み学習支援

質問 「子ども・若者総合支援センター」を設置する考えはあるか。

教育長 困っている子どもたちに途切れない支援を行えるよう、相談窓口など、人とつながれる環境を整備できるように、さまざまな情報を収集し検討していきます。

質問 高校生ボランティアによる放課後の学習支援の実施の考えは。

教育長 コミュニティスクールが目指す「地域とともにある学校」づくりにつながる取り組みで、今後も関係機関と連携を図りながら、地域人材の活用を進めていきます。



埴田 裕之

市民生活の安心安全を確保



「渋川インター南」信号機対応

質問 本年6月に死亡事故が発生した。渋川市議会市政報告を共同

発行している8議員で、事故防止のため南北の横断歩道に歩行者用信号機等の設置を市長に要望した。群馬県警等への対応と進捗よくは。
建設交通部長 市に寄せられた意見を渋川警察署へ伝達しました。警察の回答は、年内に歩行者用信号機の設置等を行うとのことです。

市長の実績と課題

質問 市長は、2期8年の報酬と退職金で約1億5000万円を得る。自身の評価として、金額に見合った責務を果たしているか。

市長 私は報酬のために働いていませんが、それに見合う仕事はしていると自負しています。なお、渋川市長の報酬は条例で定められ、県内12市で最も低い水準です。

高木つとむ後援会だより

質問 私がパワハラをしたと名指しで後援会だよりで批判した。議場で部長全員に確認し、その事実



歩行者用信号の設置で
信号無視をなくそう

市長 後援会が発行したもので、私が答えるものではありません。

質問 根拠のない批判は誹謗中傷である。市長の誹謗中傷の定義は。
市長 誹謗中傷の定義は私が行うものでなく、司法の場で判断されるものと考えます。

質問 批判の根拠も答えず、議員を陥れるため虚偽の後援会だよりを作ったと理解するが、どうか。

市長 後援会だよりの内容について、私は誹謗中傷には当たらないととらえています。その判断は司法が行うものと認識しています。



角田 喜和

夏の暑さに耐えられない 特別教室にエアコン設置を



質問 小中学校の特別教室(図書室・音楽室・家庭科室・教育相談室等)のエアコン設置状況は。

教育部長 小中学校の普通教室への設置は、令和元年度末までに完了しており、特別教室は、今年度2校整備し、来年度整備予定の2校で完了します。また、学校により、冷風機などを設置しています。

質問 津久田小学校に伺ったが特別教室はエアコン未設置だった。

天井設置の扇風機もなく家庭用の扇風機が数台あるだけで、暑くて耐えられない状況だった。来夏に向け補正予算を組み春休み中に工事をするなど、暑くなる前に未設置校へエアコンを設置すべき。

副市長 学校の空調整備の工事は、開校時には実施できないなど工期の制約があり、これまでも補正で予算措置をしてきました。今後とも工事のスケジュール調整を含め、検討を行っていきます。

基金を使い国保税引き下げを

質問 国保事業の県統一化のスケジュール、今後の問題と課題は。



暑くて夏まで待てません

育都推進部長 県が主体となり、今後9年間の調整期間を設け、令和15年度の完全統一を目指します。国保税の減免基準や市町村間の収納率格差、また、保健事業の調整や基金の取り扱いなどが課題です。
質問 基金残高は16億7600万円と潤沢にある。国保税一世帯1万円の引き下げを求める。
育都推進部長 被保険者数の推移や医療費の動向等の現状をしっかりと踏まえた上で、独自施策等への基金の活用については、引き続き、慎重に対応してまいります。

一般質問



後藤 弘一

市民の安全・安心な
生活の確保と維持



斜面防災について

質問 能登半島地震後、土砂災害の危険性が改めて注目されている。市内には多くの斜面が存在するが、県からの指導等はあったか。

情報防災部長 被災地への迅速で効果的な活動に向けた体制強化などについて、通知がありました。対応の検討が必要と考えます。

質問 市民への危険性の周知は。

情報防災部長 土砂災害ハザードマップを作成し配布するとともに、広報しぶかわに防災に関する記事を掲載し、注意喚起しています。

有害鳥獣の現状 狩猟者の人材確保および捕獲強化の今後の方向性は。

市民環境部長 有害鳥獣捕獲隊加入の呼び掛けなど、情報を発信するとともに、引き続き猟友会と協力して人材確保に努めます。

消防団の組織体制の確保

質問 地域人材の活用方法は。

情報防災部長 地域に密着した経験と知識のある機能別消防団員制度を採用し、火災現場での後方支



斜面災害に注意

援に協力していただいています。

質問 自治会防災組織との連携は。

情報防災部長 共同で防災訓練を行い、対応を確認するなど連携することで災害時の被害を最小限に抑えることができると考えます。

熱中症対策の成果

質問 「しぶかわ涼みどころ」の開設計況と利用状況は。

市民環境部長 市民会館、市立図書館、各公民館、市役所本庁舎、第二庁舎および各行政センター等の合計29施設です。気軽に立ち寄っていただくよう開設しています。

9月定例会において賛否の分かれた表決結果一覧

○：賛成 ●：反対

	中澤 功史	埴田 裕之	高野 佳美	高澤 幹	福島 丘泰	後藤 弘一	反町 英孝	板倉 正和	田村 成江	田中 猛夫	山内 崇仁	田邊 寛治	安力川 信之	加藤 幸子	茂木 弘伸	須田 勝	望月 昭治	角田 喜和	
議案第77号 令和6年度渋川市一般会計補正予算(第3号)	原案	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	修正案	●	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決
議案第81号 令和5年度渋川市一般会計歳入歳出決算について		○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第82号 令和5年度渋川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

※安力川議長は表決には参加せず、可否同数の場合のみ裁決します。

渋川市議会はインターネット中継しています。

また、一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。

いずれも市議会ホームページからご覧いただけます。ホームページアドレス
<https://www.city.shibukawa.lg.jp/gikai/index.html>
パソコンのほか、「スマホ・タブレット」でも見られます。

右の二次元コードを読み取るか、インターネットの検索で「渋川市議会」を検索し、「議会放映システム」をタッチしてください。



8月

▽6日 前橋市議会が視察来庁

(渋川市こども向けデマンドタクシー「こどもデマンド渋川」実証実験結果等)

▽7日 香川県三豊市議会が視察来庁(空き家対策)

議 会 往 来

令和6年9月定例会の審議結果

市長専決処分の報告

○和解及び損害賠償の額を定めることについて

条例の改正・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

○渋川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

○渋川市国民健康保険条例の一部を改正する条例

○渋川市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

人 事・・・・・・・・・・・・・ 同 意

○人権擁護委員候補者の推薦について(7件)

令和6年度補正予算・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

○渋川市一般会計補正予算(第3号)

○渋川市一般会計補正予算(第4号)

○渋川市一般会計補正予算(第5号)

○渋川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

○渋川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

○渋川市介護保険特別会計補正予算(第1号)

令和5年度決算・・・・・・・・・・・・・ 認 定

○渋川市一般会計歳入歳出決算について

○渋川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について

○渋川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について

○渋川市介護保険特別会計歳入歳出決算について

○渋川市農産物直売事業特別会計歳入歳出決算について

○渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計歳入歳出決算について

○渋川市小野上温泉事業特別会計歳入歳出決算について

○渋川市交流促進センター事業特別会計歳入歳出決算について

○渋川市下水道事業等会計決算について

令和5年度決算・・・・・・・・・・・・・ 原案可決・認定

○渋川市水道事業会計欠損金の処理及び決算について

請 願・・・・・・・・・・・・・ 採 択

○義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について

○ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について

○「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について

○地方財政の充実・強化に関する請願

意 見 書・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

○地方財政の充実・強化に関する意見書

○義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

○少人数学級及び教職員定数の改善に係る意見書

○持続可能な学校の実現を目指す意見書

そ の 他・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

○市道の廃止について

○和解及び損害賠償の額を定めることについて

○渋川駅前広場メインシェルター新築工事請負契約の締結について

○財産の取得について(追認)(4件)

令和6年12月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
					本会議 (開会・議案 上程) LIVE▶	
12/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (議案上程) LIVE▶	一般質問 LIVE▶	一般質問 LIVE▶	一般質問 LIVE▶	常任委員会 (総務市民) (経済建設)	
8	9	10	11	12	13	14
	常任委員会 (教育福祉)	常任委員会 (予算)	休会	本会議 (表決・閉会) LIVE▶		

○ LIVE▶ … インターネット中継あり

○ 本会議は午前10時から開会します。

○ 日程は変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

議会報編集委員会

委員長 反町 英孝
副委員長 後藤 弘一
委員 中澤 功史
委員 田村 なつ江
委員 田中 猛夫
委員 山内 崇仁
委員 角田 喜和
委員 板倉 正和

今年の夏も猛暑となり、野外活動に制限がありました。渋川へそ祭りは、熱中症対策として開催時期を例年の7月下旬から9月上旬に変更しました。暑さも和らぎ、多くの団体の皆さんが参加して、お祭りに集まった人々を楽しませていました。

9月定例会では令和5年度決算を審議し、事業の執行状況について質疑を行い、認定しました。これからも行政チェック等の市議会としての機能を発揮します。

(編集委員長 反町 英孝)

編集後記